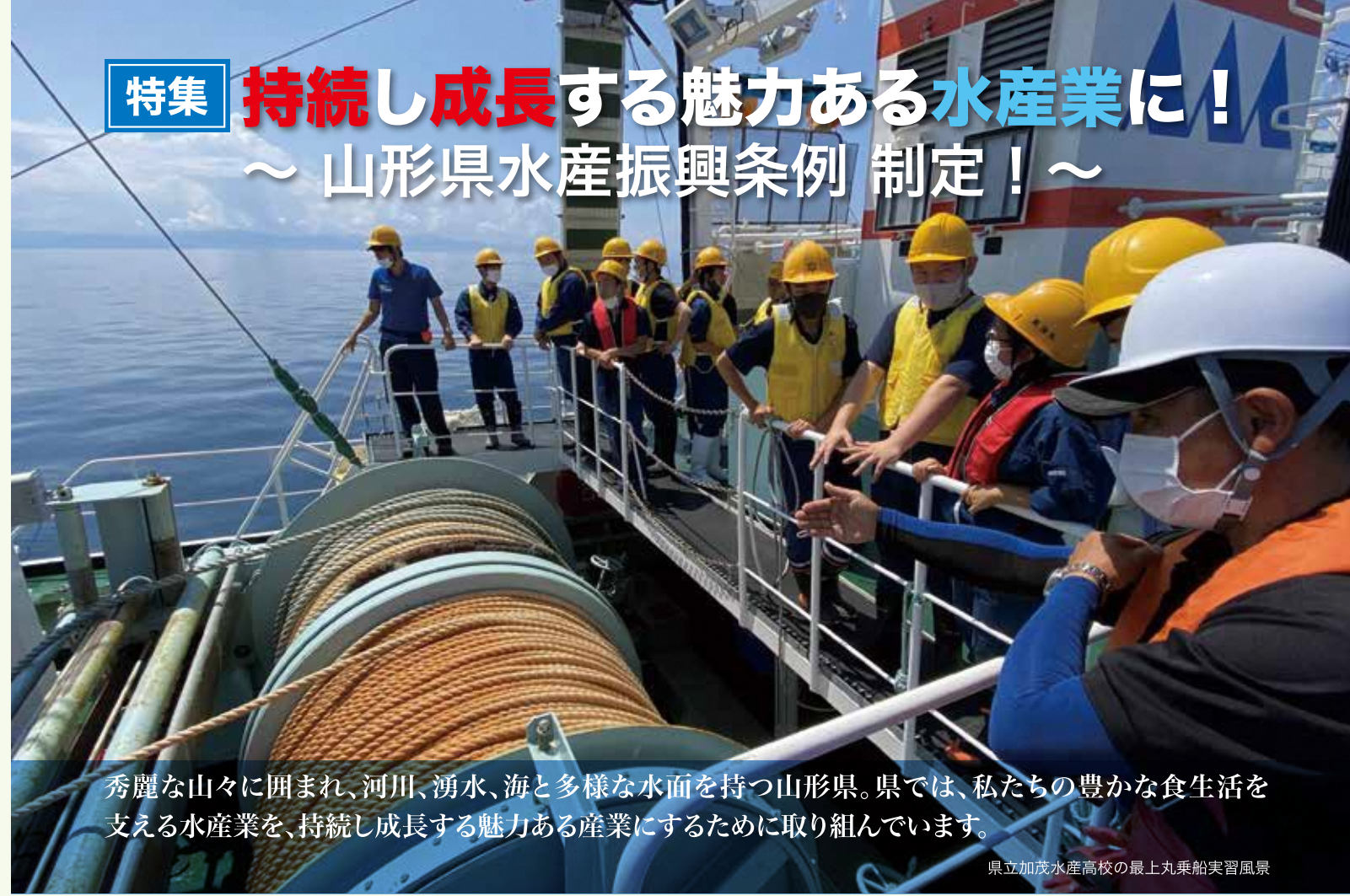


# 特集 持続し成長する魅力ある水産業に！ ～ 山形県水産振興条例 制定！～



秀麗な山々に囲まれ、河川、湧水、海と多様な水面を持つ山形県。県では、私たちの豊かな食生活を支える水産業を、持続し成長する魅力ある産業にするために取り組んでいます。

県立加茂水産高校の最上丸乗船実習風景

## 水産資源を守り、増やす漁業

海面漁業の漁獲量減少への対策の鍵を握るのが漁業試験調査船「最上丸」です。最上丸が試験や調査で収集したデータが、効率的な操業や、新規漁場の開拓に活用されています。



本県漁業を支える5代目「最上丸」

水産資源の減少対策としては、トラフグやヒラメ等の稚魚を生産・放流する栽培漁業の推進や、海藻やイワガキ等が生育しやすい増殖場の造成に関する調査研究、TAC管理制度による資源管理に取り組んでいます。



トラフグの稚魚の放流

内水面では、サケのふ化事業などの資源増殖や養殖の取組みのほか、外来魚やカワウ等による被害の防止対策なども行っています。

## ご存じですか？ TAC管理制度

TACは漁獲可能量(Total Allowable Catch)の略。持続可能な漁業に向け、水産資源を維持するため、特定の魚種ごとに捕獲できる総量を定めた制度。現在の対象は、サンマ、スケトウダラ、マアジ、マイワシ、マサバおよびゴマサバ、スルメイカ、ズワイガニの7種

## 新たな価値を創り出す！

他県や海外との厳しい市場競争を勝ち抜くには、県産水産物の付加価値向上が不可欠です。庄内浜では、漁業者、流通関係者、自治体が一体となって「庄内おぼこ®サワラ」などを庄内浜ブランドとして、戦略的に売り出しています。また、漁業者や料理人向けの講習会を開き、水産物の品質向上と調理技術の研さんに努めています。ほかにも、ニジマスなどの小型淡水魚の消費が減少していることから、寿司や刺身に向く大型マスとして、「ニジサクラ®」を県内水面水産研究所で開発、現在は生産体制の強化に取り組んでいます。



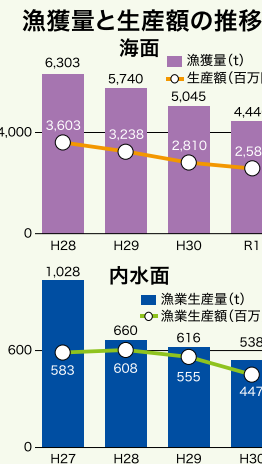
本県初のご当地サーモン大型マス「ニジサクラ」

## 後継者もしっかり育成

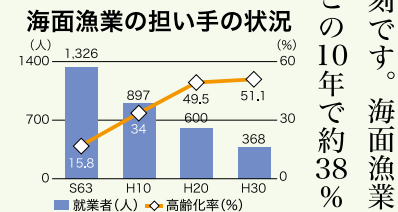
これからの漁業を担う人材の育成も重要です。高校生向けのアルバイト漁業体験や、Uターン希望者への漁業漁村移住体験を通して、漁業就業への動機づけを行っています。新規漁業者には、就業に向けた技術習得への支援や給付金の支給、独立3年後までの所得補償など、きめ細かに支援していきます。

## 本県水産業の現状と課題

山形県では、庄内沖を漁場とした海面漁業と、森と清流に育まれた内水面漁業が行われています。海面漁業は、135kmと短い海岸線ながらも約130種もの水産物が水揚げされています。一方、内水面漁業は、アユ、イワナ、ヤマメ等の稚魚の放流や、コイやニジマス等の養殖が行われています。近年は、気候変動による漁場環境の変化、水産資源の減少等により、漁獲量・生産額は海面・内水面ともに減少傾向にあります。



担い手不足も深刻です。海面漁業では、就業者数はこの10年で約38%の減少、高齢化率は50%を超えています。このように、水産業を取り巻く環境は年々、厳しくなっています。



## 漁業者の新たな挑戦を応援！

本県水産業の活性化には、漁業者や水産業関係者の積極的な取組みが必要です。県内の事業者が、水産振興計画に沿って、水産業振興と地域活性化に向けた取組みを行う場合、県と市町村が連携して支援する事業を今年度から始めました。初年度は18件を採択し、さまざまな新しいチャレンジを応援しています。

## こんな取組みが行われています

- ◆新規漁業者にリース形式で中古漁船を貸出
- ◆出荷時の高鮮度保持に有効な薄片氷製氷機の整備
- ◆漁業効率化、漁労経費の低減につながる漁具の整備
- ◆「むくりぶな」の生産拡大に向けたフナ養殖池整備など



置賜地方の郷土料理「むくりぶな」

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組  
いきいきやまがた  
放送のご案内

「未来へつなぐ山形の水産業」と題して県内民放4局で特別番組(30分)を放送します。

テレビユー山形(TUY)  
●1月8日(土)午後5時～

山形テレビ(YTS)  
●1月15日(土)午後3時55分～

山形放送(YBC)  
●1月22日(土)午後2時25分～

さくらんぼテレビ(SAY)  
●1月29日(土)午後5時～

放送時間は変更になる場合があります。

## 水産業の活性化のために

このような中、県では昨年3月、本県水産業の振興を目的に、山形県水産振興条例を制定するとともに、オール山形で取り組んでいくための指針となる山形県水産振興計画を策定しました。

## 山形県水産振興条例の目的

水産業の健全な発展と地域振興を図り、豊かな県民生活の実現および地域経済活性化に寄与  
その実現に向けて、県、市町村、水産業者および県民が一体となって取り組む指針

## 山形県水産振興計画の5本柱と取組み例

1 持続可能な海面漁業の生産基盤整備	水産資源管理、漁場保全、漁港施設整備
2 海面漁業の経営基盤強化	担い手育成、庄内浜ブランド等の付加価値向上
3 持続可能な内水面漁業・養殖業の振興	水産資源増殖、漁業・養殖業者の育成
4 県産水産物の利用拡大	認知度向上と魚食普及、加工・販売力の向上
5 安全安心で健全な水域環境の確保と活用	漁業監視、法制度の周知

主な目標値  
・経営体あたりの海面漁業生産額1.2倍 695万円(H30) → 850万円(R6)  
・水産加工品の付加価値額を2倍に引き上げ 5,400万円(H30) → 1億1,000万円(R6)

## 山形県産の魚を食べよう！

生活スタイルの変化もあり、食卓に魚が並ぶことが減っています。そこで、子どもたちに小さい頃から県産水産物に親しんでもらうため、学校給食で提供する取組みを行っています。また、庄内浜文化伝道師による料理教室や、飲食店やスーパーマーケットと連携した旬の魚キャンペーンを展開しながら、県産水産物の消費拡大を図っています。



食の都庄内天然とらふくキャンペーン開催中！



庄内浜文化伝道師協会  
会長 手塚太一 さん

庄内の地魚のおいしさや料理方法、浜の食文化などを継承するために活動しています。今後は、魚食普及に取り組む団体と連携して、積極的な情報発信に取り組んでいきます。

## 豊かな水産資源を次の世代へ

山形県の豊かな海や川、水辺の自然環境に親しみながら水産資源を守り、県産水産物をたくさん食べることで、水産業を次世代につなげていく取組みとなります。ぜひ、県産のおいしい魚介類を食べて、本県水産業を応援してください。

▶問い合わせ ◎ 水産振興課 ☎023-630-3330